

1 講座名・定員など

(1) 授業科目

科目	曜日・時限	授業時間	定員
North American Studies I	月・1	9:10～10:40	5名程度
地理学	月・3	13:10～14:40	5名程度
ボランティア論 N	月・3	13:10～14:40	5名程度
演劇論 I	金・1	9:10～10:40	5名程度
文学	金・1	9:10～10:40	5名程度
障害児教育思想史	金・2	10:50～12:20	5名程度

※ North American Studies I 授業は基本的に英語で行い、英語で課題があります。

- 授業の曜日・時限等は現時点での予定につき変更になる場合があります。ご了承ください。
- 授業は、9月12日（金）から開始し、15回の予定です。祝日授業日もあります。
- 全ての授業で、インターネット授業支援システム manaba を使用します。課題への解答、資料閲覧等に使用するのでインターネットにアクセスできる端末と通信環境が必要です。本学からの機材貸与はございません。自宅等で学習する場合の通信料は、受講者本人の負担となります。
- 個人端末などの接続や操作方法等のお問い合わせは承っておりません。

(2) 場所

文教大学 越谷キャンパス 埼玉県越谷市南荻島 3337

※ 東武スカイツリーライン 北越谷駅西口下車 徒歩約10分

※ 公共交通機関の学割対象にはなりません。

※ 車・バイクでの通学はできません。 自転車の駐輪は所定の手続きが必要です。



2 受講料等

- (1) 受講料 1科目（半期）につき 10,000 円
- (2) 教科書等の教材は別途各自でご用意いただく場合があります。

3 受講の申込み

- (1) 申込期限 令和 7 年 8 月 18 日（月）13：00 厳守

- (2) 申込み先

文教大学 地域連携センター https://shougai.bunkyo.ac.jp/senior_academy/index.html

- (3) 申込み方法

申込フォームよりお申し込みください。

<https://forms.gle/MUX3d7Zvbzr3tkWS7>

※ 上記以外での受講申込は受付けておりません。



- (4) 選抜方法

定員を超える申し込みがあった場合には、抽選により受講者を決定します。選抜結果は、申込者全員に郵送します（8月20日（水）発送予定）。8月26日（火）までに届かない場合はご連絡ください。

- (5) 受講手続

受講可の場合、選抜結果送付時に振込用紙（コンビニエンスストア）と手続書類を同封します。手続書類には4×3cmの証明写真が必要です。内容を確認し、期日までに手続きをしてください。

申込みをキャンセルする場合は8月29日（金）までにご連絡ください。その場合、受講料等はいただきません。ただし、一旦納入された受講料は返金することができませんので、あらかじめご了承ください。

- (6) その他

① 9月20日（土）時点で正規学生の履修者がいない科目は非開講となり、以降の授業は行われません。その場合、受講料は返金します。

② 9月11日（木） 午後に受講オリエンテーションを予定しております。授業の出席方法や学内施設の利用について説明しますのでご予約ください。詳細は受講確定後にご案内します。

4 各授業科目の概要及び担当教員

現時点での予定につき、担当教員や科目名称、一部講義内容が変更になることがあります。

<p>North American Studies I (ラメイ・アレック)</p>	<p>Students will study topics in American and Canadian history, politics, economics and business. North American viewpoints on gender issues, human rights, health care, and other social issues will be compared with Japanese and other Asian views on these issues. アメリカとカナダの歴史、政治、経済、ビジネスについて学ぶ。ジェンダー役割、人権問題、健康管理などの社会問題に関して、北アメリカの視点と日本やアジア諸国の視点を比較する。 This is a lecture class. Students are expected to take notes and participate in open discussion.</p>
<p>地理学 (三木 一彦)</p>	<p>地理学は、歴史軸を考慮に入れることで、ぐっと奥行きを広げることができる。本授業では、いくつかのトピックを糸口としながら、日本列島諸地域の歴史的展開について考えていきたい。</p>
<p>ボランティア論 N (二宮 雅也)</p>	<p>現代社会におけるボランティアは、災害ボランティアや福祉ボランティアといった社会的課題の克服をサポートする活動から、スポーツや音楽などの各種イベントを支えるボランティア、地域再生といった「まちづくり」を支えるボランティアまで多岐に及んでいる。この授業では、さまざまな場面でのボランティア活動事例を教材としながら、現代社会における活動の意味を考える。その動機や活動の本質はどこに見いだせるのだろうか。授業では、理論的側面からのアプローチだけではなく、実際に活動を体験・実習しながら、ボランティア活動の本質に迫ることを目的としている。そうした経験を踏まえて、活動する主体（送り手）と客体（受けて）のそれぞれの立場を考えながらボランティアを考察する。</p>
<p>文学 (大島 文志)</p>	<p>文学の授業では、近現代日本の代表的な文学作品について文学史・作品の読みの両方からアプローチしていく。 近現代日本文学においては、写実主義・自然主義・プロレタリア文学など、様々な主義主張が存在した。 まず、この様々な主義主張を理解し、一つの作品を読むだけでは知り得ることの出来ない近代日本文学史と、その中で「私」、というものがどのように描かれたのか、その描かれ方を学んでいく。 次に、グループ討論・ディベートなども行いながら、作品に描かれる「私」について考えてもらう。 作品の読みに関しては多様性を重視し、高校までの教科書教材としての読みとの比較なども行いたい。 最後に、現代の文学における「私」の描かれ方を考えたい。</p>
<p>演劇論 I (青木 祐子)</p>	<p>能とお伽草子の関係を紐解くことは、能の成立と受容を考える上で重要な課題である。能とお伽草子の関係に注目し、能が演劇としてどのような効果を発揮しているかについて考察を深めながら、能および演劇全般に対する分析的理解に必要な視野と能力を身につけることを目標とする。</p>
<p>障害児教育思想史 (佐々木 順二)</p>	<p>障害のある人々の自立と社会参加のための教育的・社会的条件の整備にかかわる思想を学修する。受講者は、障害児教育を支える思想に関するテーマを一つ設定し、文献調査に基づくレポートを作成し、授業の中での発表と意見交換を通じて、現代の障害児教育と思想的基盤とを関連づけて学修をする。</p>